

今回1年間プログラミングを学んでみて思ったのは、自分の考えは甘かったな、ということ。高校生の時、私は情報の授業の成績は上位の方でした。そしてその時に考えたのがプログラマーという仕事につこうということでした。私の従兄弟の二人もプログラマーになったということも聞いていたので、自分もやってみたくて考えていました。ただ高校の時に習っていたものはワードやエクセルだけで、プログラムについては全く習っていませんでした。

この大学に入って2年生になり、プログラミングの授業が開始されるのはとても楽しみでした。でもその楽しみはすぐに絶望にかわりました。何を言っているのか全くわからず、どこをどうすればどう動くのかも全くわかりませんでした。宿題も友達や先輩に教わりながら少しずつ学んでいって、夜遅くまで学校にいてプログラミングを嫌いになっていきました。でもプログラムが正常に動いた時の喜びはとても大きく、その時を楽しみになんとか続けることができました。

グループワークなども、自分の役割を決めてみんなで同じプログラムを作っていくのはとても楽しかったです。個人で宿題のプログラムを完成させたときとはまた違った達成感があり、やりがいもありました。

ただ、自分の中に将来はプログラマーになろうという考えは消えてしまったので、正直にいうと将来プログラミングが自分にとって必要になってくるかはわかりません。CGIも使うかはわかりません。

でも私は自分のホームページを作ってみたくて、と思っています。ブログなどではなく、自分でhtmlで自分の思いのままに作ってみたくて考えています。将来就職した場合は、今ではwebデザイナーなどの職業もあるので、企業で最初からパソコン専門で入社する人以外が社会でこのプログラミングを使うことはまずないと思うので、個人で行なうホームページなどでは今回プログラミングで習った内容は大いに役立ってくると思います。

CGIも例外でなく、将来いろいろな用途に使うことが出来ると思います。先生がwebページに作っていたプログラミングの授業に関してのアンケートを作っていたものがありましたが、そういった感じで自分のサイトのアンケートを作ったり、項目を入力してもらったりできると思うので、もしホームページを作ったときには使えると思います。

今回基礎プログラミングの授業を受けてみて、パソコンでできることはこんなにも多いことなのか、と思い知らされました。ただワードやエクセルを使うだけでなく、この授業でやったように自分でいろいろプログラムを作り、それをつかって効率よく作業をこなしたり、使い方は様々あると思います。パソコンはこれからもどんどん進化していこうし、それにあわせてもっと知識をつけていかなくてはならないので、これからも大変だな、と思いました。

私はインターネットのゲームをたまにやるのですが、プログラミングを学んでからどういうプログラムを組めばこんなふうに動くんだろうといつも考えるようになりました。私達がこういったゲームだけでなく、いろいろなプログラムを使って便利な生活ができるのも全てはそのプログラムを作ったプログラマーの人のおかげなので、プログラマーの人に感謝しながらパソコンを使って行きたいと思っています。